



鷹揚郷からの岩木山 2019年1月25日撮影

# 鷹揚郷新聞

2019年 2月発行  
第11号 職員表彰特集

## 職員表彰式

1月の仕事始めの折に、理事長の意向で、初めての**職員表彰式**が行われました。昨年の「**院内情報共有ネットワーク化**」の功績に対するもので、**研究部と環境整備のメンバー**が表彰されました。臨床研究を行う際に必要な患者さんデータがパソコンを介して閲覧でき、取り出しやすくなります。業務の見直しも行われ、手書き、転記後打ち込みしていたデータが直接ipadやパソコンに入力できることで、見やすさ、ミスの解消、時間短縮にもつながります。File Makerというデータベースソフトウェアを使って、鷹揚郷弘前病院用に独自のシステムを作り上げています。構想から1年近くをかけて、ようやく形になり、その労力たるや、多大なものだったと推測されます。では、受賞された皆さんから、一言ずつお願い致します。(敬称等略)

**鶯谷**: 感謝状をいただき、とても嬉しく思います。これからも最高のチームメンバーと共に表彰に劣らない努力をしていきたいと思っております。

**佐藤**: このような賞を頂き、大変驚いております。チームワークの賜物だと思っております。関係各部所の方々のご協力に心から感謝致します。

**須郷**: 配線やPC設定など通常業務の参加でしたので恐縮しています。環境整備から2名の受賞でしたが、この作業をしている間に他のメンバーが仕事のフォローをしてくれたことに感謝いたします。このプログラムは鷹揚郷オリジナルなので今後の展開は無限にあると思っております。

**丹代**: 皆様のお力添えで、賞を頂くことが出来ました。自分自身学ぶことが多く、とても勉強になりました。また、このような機会がありましたら、次回も是非皆様のご協力を頂きますようお願い申し上げます。

**近江**: 新年早々、このような栄えある賞を頂けるようなチームに所属していることを光栄に思います。今後も受賞に恥じぬシステム構築ができるように精進したいと考えています。



左から丹代(B)、鶯谷(K)、理事長、須郷(B)、佐藤(K)、近江(K)  
敬称等略 ( )内は所属 K:研究部 B:環境整備



システム用パソコン



システム用ipad

受賞された皆さんには、賞状と記念の品が送られました。ちなみに男性にはワイン、女性にはステキなブローチだったそうです。

皆さん、おめでとうございます。  
そして、ご苦勞様でした。


## 患者友の会より

## 観劇会のご案内

青森県腎協 女性部主催 劇団「魁」新春公演の観劇会をご案内いたします。

平成31年2月17日(日)南田温泉アップルランドです。

会費は**お一人様500円**で観劇チケット&入浴券付きです。

当日は11時に弘前駅城東口に集合、ジャンボタクシーで移動します。直接現地集合もオケーです。13:30~15:30観劇、昼食は各自でお願いします。

参加希望者は女性部長 菊池ユキ子さんまで tel 090-6938-6699

又は火・木・土午前第2透析室(2F)菊池まで。

患者さん、ご家族、どなたでもご参加ください。お待ちしております。

鷹揚郷 弘前病院患者友の会 会長 蒔苗 和雄



ポスターは、院内各所に掲示してあります



# 鷹揚郷第4回腎疾患セミナーのご報告

テーマ:「腎臓の漢方」

講師:永田 紀四郎(ながた きしろう)先生  
(鷹揚郷腎研究所弘前病院腎臓診療部長)

2019年1月25日(金)17:30~

鷹揚郷・腎研究所・弘前病院 3F講堂にて開催



永田先生

☆先生は、漢方に会って以来、漢方薬で腎臓病の進行を食い止めたり、透析療法への移行を遅らせたりする研究を続け、臨床にも生かしておられます。

## 五臓

セミナーの様子



肝	全身の臓腑の働きを円滑にする、感情をコントロールする、胆汁を排泄し解毒する、血液を貯蔵し供給を調整する、筋内および腱を栄養し、運動を支配する
心	精神活動支配、血液を全身に送る
脾	飲食後の消化吸収、水分の吸収、血の統御
肺	呼吸作用、気血生成の場、水分を全身に配布
腎	生殖、生長、発育など人の一生の過程を支配、人の陰陽の基本生命力の根本、水分代謝を支配する

目  
舌  
口  
鼻  
耳

## 防災対策 その1

### トリアージカード使用による災害時の避難について

日本は地震大国です。病院で火災が発生する場合もあります。万が一透析中に地震や火災が発生した場合、患者さんの移動能力を示すことで、全職員が協力し患者さんの避難誘導がしやすくなります。そのために作られたのがこのトリアージカードです。

<トリアージカード>



- 緑色: 独歩(一人で歩ける)
- 黄色: 護送(車椅子移動)
- 赤色: 担送(ストレッチャー移動)

まず、透析中に地震が発生した場合、「自分の身は自分で守る」の気持ちで揺れが収まるまでは布団を頭からかぶり、透析チューブを握り、片手はベッドの柵やマットレスを掴み、ベッドから落ちないようにしましょう。揺れている間は、スタッフも危険から身を守る体勢をとります。

揺れが収まったら、まず最初に各患者さんに適したトリアージカードを渡します。その後、避難指示があったら返血あるいは切り離します。必ず靴やスリッパを履き、ベッド上にある貴重品のみ持ち、避難します。エレベーターは使用できません。

避難場所に着いてもすぐ帰宅したり、その場を離れたりせず、スタッフの指示に従ってください。皆さんの安全を確認の上、帰宅していただきます。

火災の場合も同様です。今後は、このカードを使用しての避難訓練を予定していますので、ご協力ください。訓練を重ねて、いざと言う時の心の備えにしたいですね。

次回は災害用伝言ダイヤル(171)についてお話しします。

## 2階 2病棟より~

患者さんからのプレゼントの切り花を嶋田師長が花びんに生けました。春がそこまで来たかのような色合い。気持ちが明るくなりますね。



## 【編集後記】

2月3日の節分が過ぎたと思えば、4日は立春。相変わらず、雪の便りが多い毎日ですが、かすかに春の足音が聞こえてくるようです。なんとか、この冬を乗り越えて春に向かいましょう。

発行: 鷹揚郷 広報部



## リレー寄稿

皆さん、こんにちは。臨床工学技士の小浜です。インフルエンザが流行してきましたが皆さんは大丈夫でしょうか？年末年始はあまり天気が良くありませんでしたが、今年は、昨年のような地震、集中豪雨、台風、猛暑とならない事を期待しています。



さて、昨年末から今年にかけて、様々なイベント、行事には必ずといっていいほど「平成最後の~」という言葉がつかようになってきましたが、ご存知の様に平成も今年4月30日で終わりとなります。5月1日には新天皇が即位され新元号となります。但し新元号の発表は4月1日の午前中になるようです。



ところで皆さんは元号はいつから始まったのかご存知でしょうか。おそらく殆どの方は知っていると思いますが、日本史で習った通り、大化改新の【大化】からで、現在【平成】に至るまで南北朝時代を含め計247の元号になるそうです。元々は中国から朝鮮半島を経て日本に伝わった様ですが現在世界の国々の中で元号制度が残っているのは日本だけです。

約30年続いた平成の時代が幕を閉じ、はたして新元号はどの様なものになるのでしょうか。あと2か月余りで発表になります。それまで自分なりに予想されては、いかがでしょうか。

最後になりますが、次回は技士の中で一番若い有澤君にお願いしたいと思います。

## ワンポイントアドバイス ~第1透析室より~

2月10日は「フットケアの日」です。この日は、2012年に、日本フットケア学会、日本下肢救済、足病学会らが、「足、救おう!!」と制定したそうです。

透析室でも毎月フットチェックシートを用いて足の観察を行い、足病変の早期発見と早期治療を心がけています。皆さんも自分の足に関心を持って『見る・触る』を大切にしてほしいです。靴擦れ・水虫・うおのめ・たこ・爪の変形等を注意深く観察することが大事です。

今回は、ワンポイントアドバイスとして、正しい爪切りの仕方をご紹介します。皆さんは、正しい爪の切り方ご存知ですか？足の爪は、まず中央部分をスクエアにカットし両端をやすりで丸めていくのが巻き爪にならない方法です。そして、長さは、「もう少し切りたい」という辺りが適度です。少しずつ切って形を整えましょう。



最近、巻き爪の患者さんが増えているようです。原因は間違った爪切り、靴が合わない、指に力がかからず、良くない歩き方をしている等の要因があげられます。理想は、爪の巻く力と足指の爪を「広げる力」のバランスが取れていることです。

指先に重心のかからない歩き方をしていると、足の指が地面から浮き上がり、爪を「広げる力」を弱めます。靴が合わなくて、重心がかかとと中心になるとそうなることもあります。また、日ごろから運動をしていない人も、地面からの圧力を受けず、「広げる力」を弱める結果となります。親指に体重のかからない生活習慣が長く続くと、爪はどんどん丸まっています。

まずは爪の切り方を見直して、足のセルフケアを始めましょう！

